

I. 地理と歴史

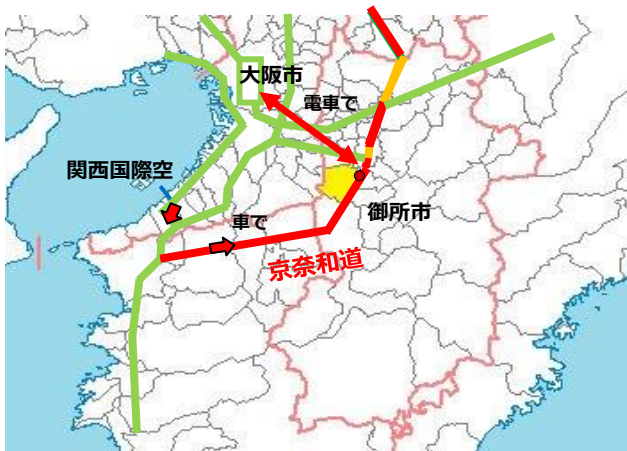
統計からみた御所市のすがた 令和8年度改訂版

1. 歴史・位置

沿革

- ・昭和29年1月1日
秋津村が南葛城郡御所町に編入
- ・昭和30年2月1日
掖上村が南葛城郡御所町に編入
- ・昭和31年9月1日
葛城村と吐田郷村が合併
葛上村が発足
- ・昭和33年3月31日
南葛城郡御所町、葛村、葛上村
大正村が合併し御所市が発足

位置



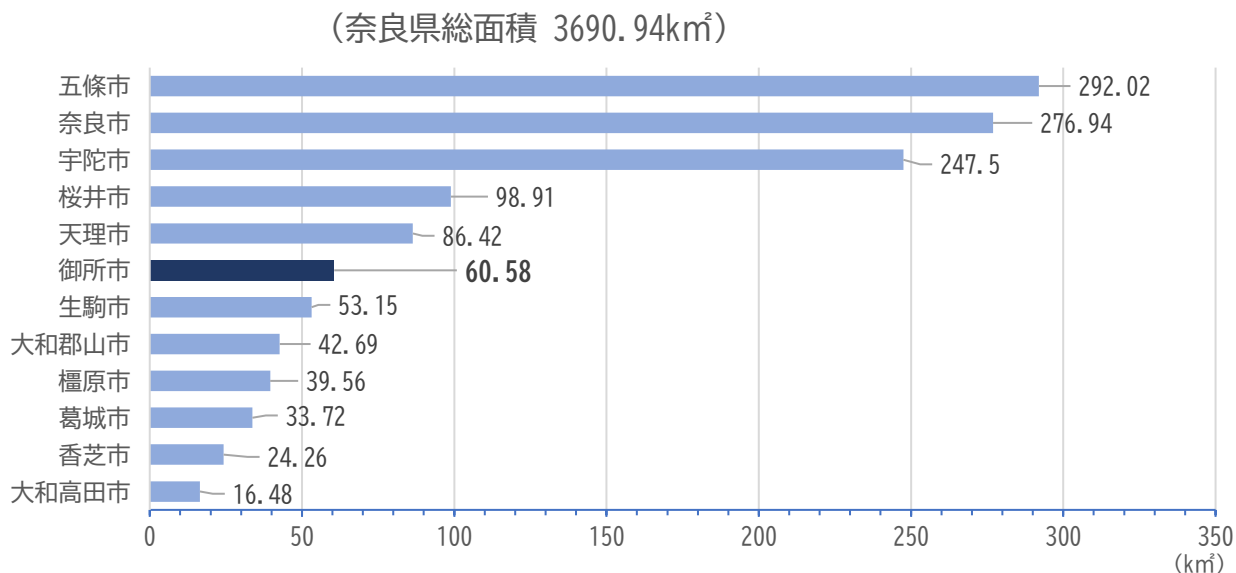
御所市は昭和33年3月31日に、奈良県で8番目の市として誕生しました。

奈良盆地の南西部に位置し、西は葛城山（標高959.7m）、金剛山（標高1,125m）が南北に連なっており、南東部には巨勢山丘陵地など、標高150～350mの丘陵地があり、そこから平地の広がる緑豊かな自然に囲まれた田園都市です。県内では葛城市・大和高田市・橿原市・五條市・高取町・大淀町に接し、西側は大阪府の河南町・千早赤阪村と接しています。

大阪市内までは鉄道を利用し約40分、近畿の空の玄関口である関西国際空港へは京奈和道を利用し約60分と、大都市近郊としての立地性を持っています。

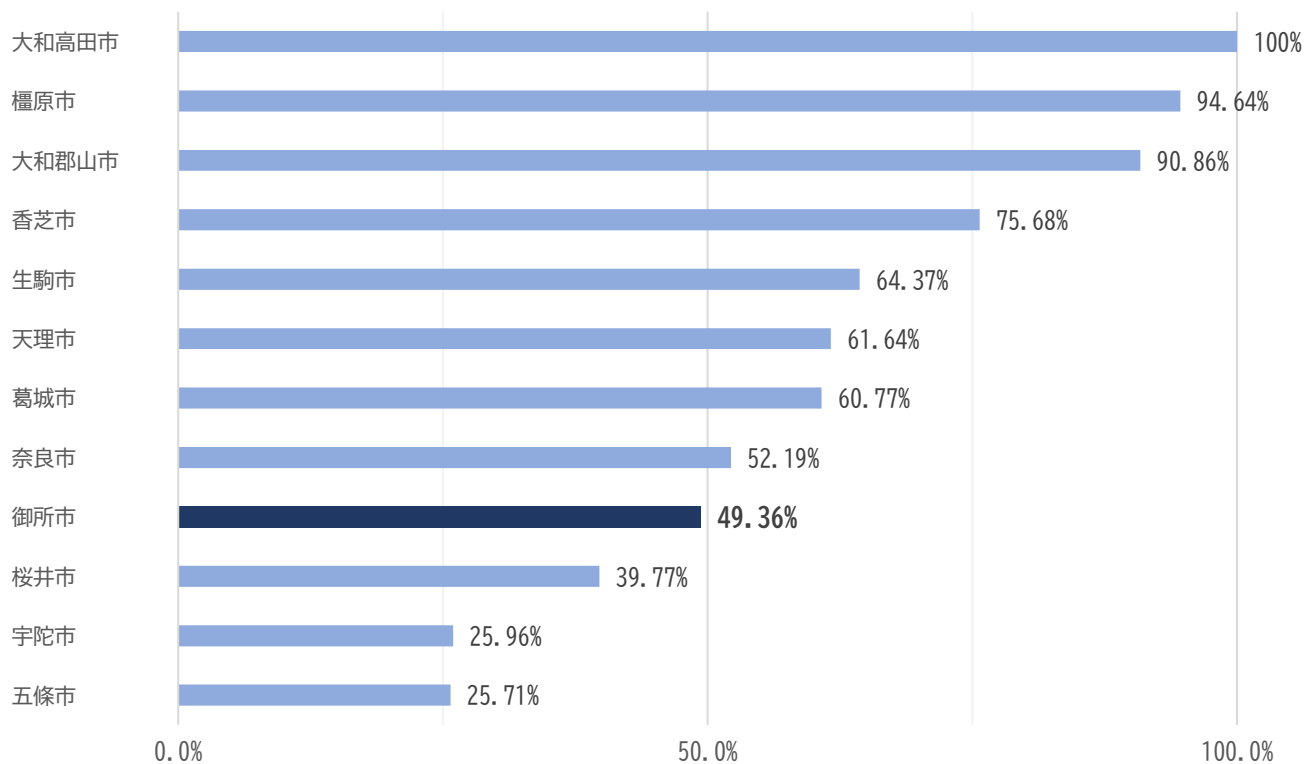
2. 面積・地勢

■県内12市 総面積（令和7年10月1日時点）



出典：国土地理院『令和7年 全国都道府県市区町村別面積調（10月1日時点）』を基に作成

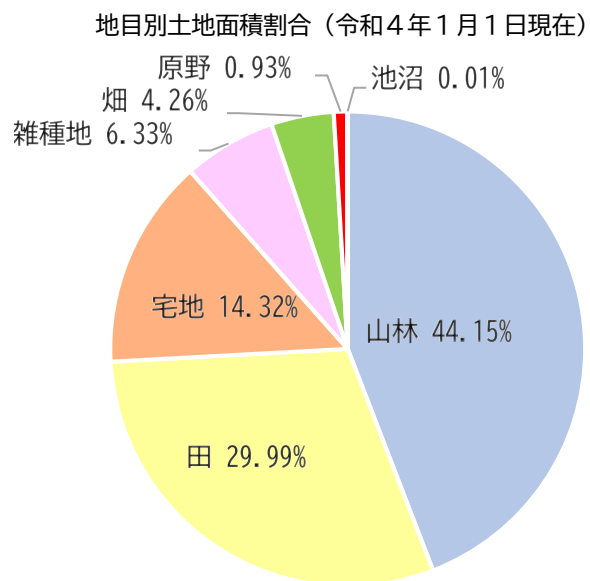
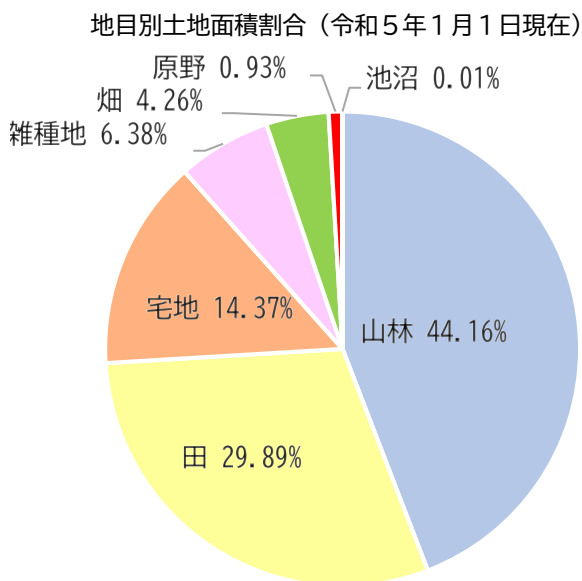
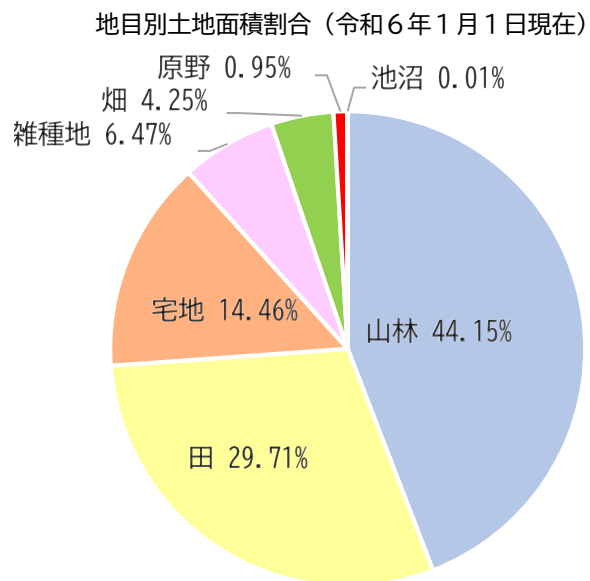
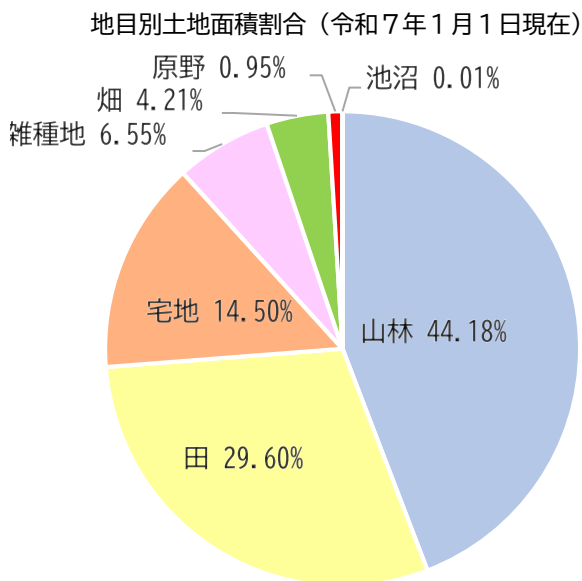
■可住地面積割合（令和7年）



出典：総務省統計局『統計でみる市区町村のすがた 2025』を基に作成

2. 面積・地勢

■地目別土地面積割合



出典：御所市統計書を基に作成

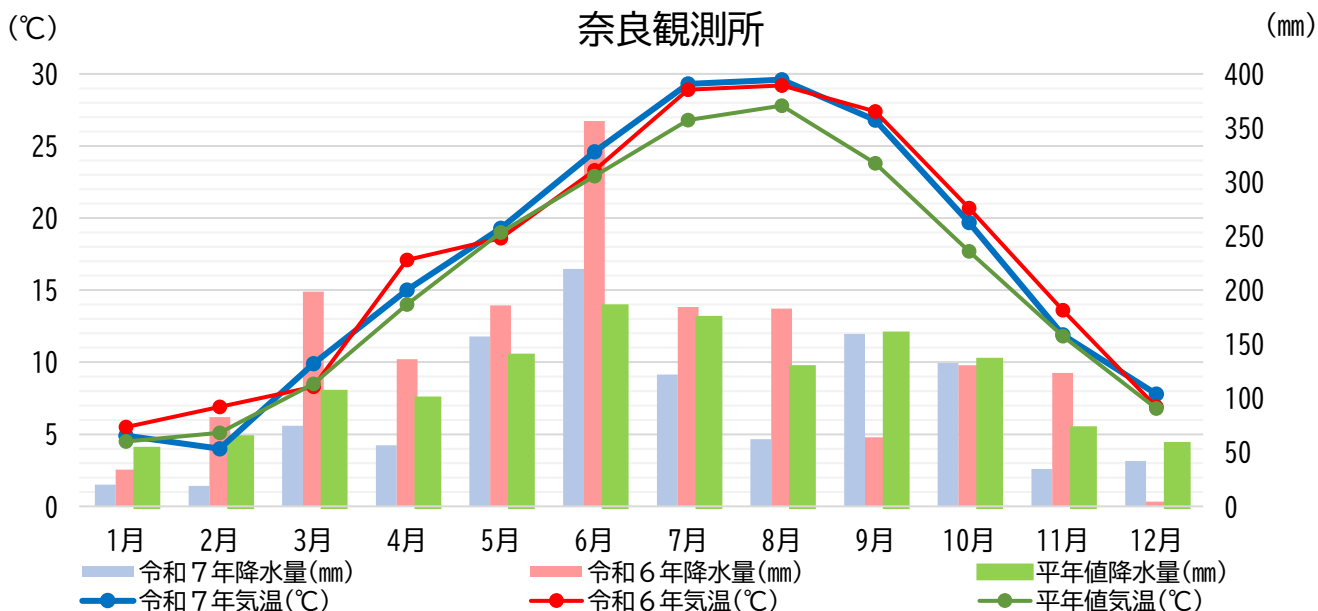
地目別土地面積割合のグラフに関するお詫びと訂正

令和7年度改訂版の「統計からみた御所市のすがた」にまで掲載しておりました地目別土地面積割合のグラフについて、それぞれ基準日の表記が誤っておりました。お詫びして訂正いたします。正しい基準日と対応するグラフは上記の通りです。グラフの基礎となる数値は御所市統計書に掲載しており、令和4年より前の数値も参照できますので、是非ご覧ください。

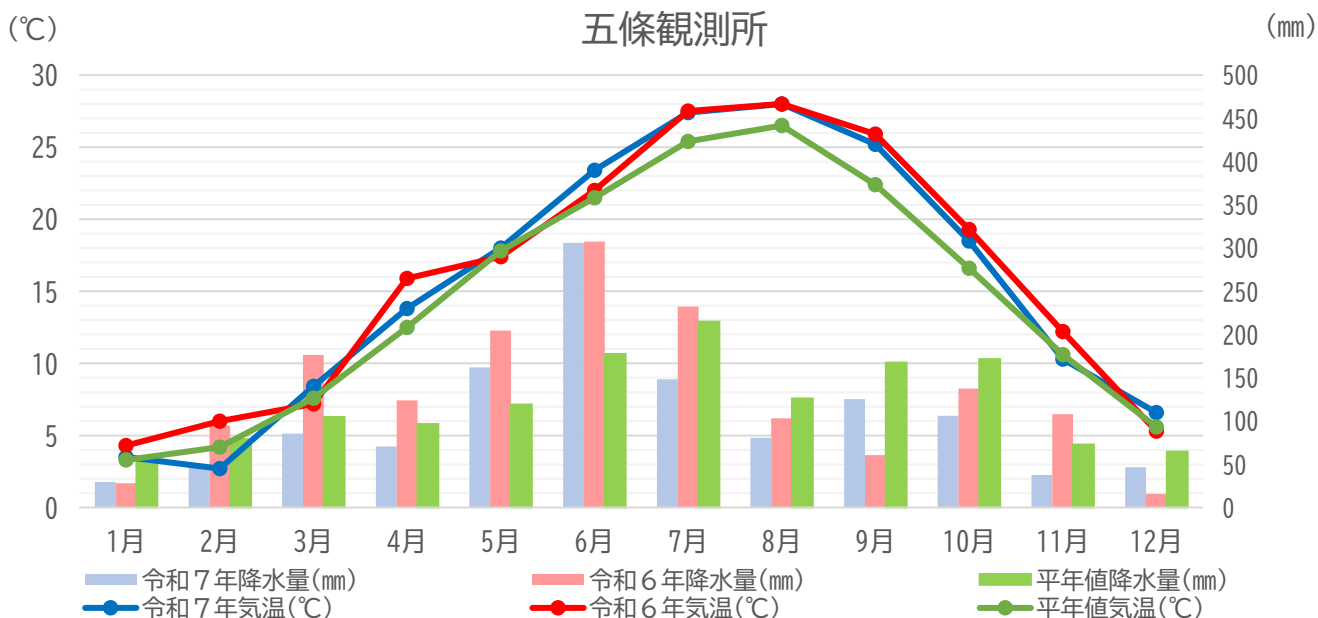
3. 気象

■月別平均気温・降水量（令和7年）

（平野部）



（山間部）



出典：気象庁『気象観測データ』を基に作成

データから読み取る

気候は北部の平野部と南部の山間部とで少し異なり、気温は約1度から2度程度の差があります。また、降水量は両地点とも5月と6月が平年を上回っています。令和7年と令和6年の降水量を比較すると、9月と12月は令和7年の方が多いものの、年間を通しての降水量はいずれの地点においても令和6年の降水量の方が多くなっています。